

平成31年度（2019） 事業計画書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	島本町商工会	
	代表者職・氏名	会長 小山 登	
	所在地	〒618-0021 大阪府三島郡島本町百山4番1号	
	担当者	職・氏名	事務局長 川島 和也
		連絡先	電話番号（直通）： 075-962-5112
Fax： 075-962-0230			
		E-mail： shimasyo@silver.ocn.ne.jp	
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率） ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載のこと		①昭和38年1月8日 ②4名（うち3名）（平成31年1月5日現在） ③島本町 ④671（平成26年経済センサスによる） ⑤438（平成26年経済センサスによる） ⑥332（49.9%）（平成31年1月4日現在）	
□主な事業概要（定款記載事項等）			
①商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 ②商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 ③商工業に関する調査研究を行うこと。 ④商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 ⑤展示会・共進会等を開催し又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 ⑥商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 ⑦商工会として意見を公表し、これを国会・行政庁等に具申し。又は建議すること。 ⑧行政庁等の諮問に応じて答申すること。 ⑨社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 ⑩商工業者の委託を受けて当該商工業者が行うべき事務（その従業員の為の事務を含む）を処理すること。 ⑪大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。 ⑫行政庁からの委託を受けた事務を行うこと。 ⑬前払式証券の発行に関する業務を行うこと。 ⑭前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。			

(1) 所管地域の産業経済の現状と課題

本町は水と緑の街づくりを推進しており、住環境重視の影響を受け、製造業が極端に少なく、大手企業の研究所が数社ある程度で、小売り、サービス業等の割合が非常に高い町である。狭い地域内に阪急水無瀬駅、JR島本駅があり、大阪市、京都市に出るのも30分以内と交通の利便性が良く、以前から購買力の流出が非常に多い（地域経済循環図(2013年データ)より民間消費額では255億円の地域外への流出と見られる）。

本町の課題としては商店主の高齢化や廃業の増加など、商業の地盤沈下が進んでいるのが現状である。どのように購買力の流出を止め、地域全体の活性化を図るかが最大の課題である。

(2) 所管地域の活性化の方向性

上記、理由により商業の地盤沈下が急速に進んでおり、その対策として地盤沈下が進行する商業環境を改善すべく、『100円商店街』や、空き店舗等を活用したCB起業家の育成支援を目的に『しまもと手づくりコミュニティ市』を開催する。町内の商店街等に賑わいを取り戻すことで、集客力のアップや新規顧客の獲得を目指し、商業活性化を図る。「離宮の水」商業活用により「離宮の水」ブランディングロゴを活用していただける事業者を募集、協議会にて4品目が新たに島本町の名産品と誕生し、現在14品目が認定されている。これらの物産品を本格的に売り出し、観光客の消費を促す事で観光の町としての活性化を目指す。またにぎわい地域活性化交流会で構築している『しまもとにぎわいネット』と連携する事で、町内外へ情報発信を行いボランティアガイドと連携・活用し、飲食店及び小売店等での観光客の消費を促し、地域全体の活性化を目指す。

(3) 主たる支援の対象として想定する小規模事業者等のイメージ及び対象事業者数

本町の事業所は小売、サービス業の小規模事業者が多くを占めており、近隣大都市（大阪市、京都市、高槻市）等への購買力の流出が多く非常に厳しい状況下にある。しかし、このような状況下にあっても、様々な販促策を講じて、必死に頑張っている商店街や地域のオンリーワンを目指し、こだわり商品を販売、売上を増加させている事業所並びに、新規創業を目指す事業所に各種支援機関の専門家をコーディネートしたり当会指導員も各種の支援を行い、地域活性化の導火線役を担ってもらう。主たる支援対象事業者数としては「小売業・サービス業・飲食業」の合計で約180事業者となる。

(4) 事業の目標

平成31年度は、小売、サービス、飲食業等の事業所（約180事業所）の抱える問題点や課題等に対し、速やかな指導を行う事を心がけ、素早い対応、ワンストップサービスを実施することを指導員全員が心がけ、事業所の満足度、向上に努める。又、『100円商店街』や『しまもと手づくり市』を開催する事により、商店街のにぎわいを取り戻し、売上のアップや起業家の育成等に役立て、地域活性化につなげる。又、地域資源を活かした新事業を計画する人の発掘に力を注ぎ各種支援機関の専門家をコーディネートし、又当会指導員も各種の支援を行い、新事業を成功に導く。現在実施している「離宮の水」商業活用により新たに4品目の名産品が誕生した。今後、ブランディングロゴを活用していただける事業者をさらに募集、協議会にて決定し物産品を本格的に売り出し、観光客の消費を促す事で観光の町としての活性化を目指す。またにぎわい地域活性化交流会で構築している『しまもとにぎわいネット』と連携する事で、町内外へ情報発信を行いボランティアガイドと連携し、フルに活用し、飲食店及び小売店等での観光客の消費を促し、地域全体を元気にする。

(5) 事業の実施により期待される効果及び実施しなかった場合の影響（実施する事業の給体的な効果等を記載すること）

事業者は無料で、経営支援事業（税務、金融、経営、労働等）の継続的な指導が受けられる事や、専門相談員からの的確な指導が受けられる事が確実な問題解決に繋がっている。商工施策についても商工会ニュースや信頼関係のある経営指導員からの情報入手により、活発な利用も可能となる。また、町内の商業の地盤沈下は深刻な状況下であり、このまま放置すれば、数多くの店舗が廃業に追い込まれるであろう。その打開策として『100円商店街』の開催、空き店舗を利用したCB起業家等による『手づくり市』開催等により集客力を高めることは、各商店が賑わいを取り戻し、『しまもとにぎわいネット』等を活用して町内外へ情報発信することにより、観光客の消費を促すことで商業活性化の一助となることを確信する。

I 経営相談支援事業

支援メニューの件数					
事業所カルテ・サービス提案	95	事業所	支援機関等へのつなぎ	20	支援
金融支援（紹介型）	4	支援	金融支援（経営指導型）	10	支援
マル経融資等の返済条件緩和支援	1	事業所	資金繰り計画作成支援	5	事業所
記帳支援	12	事業所	労務支援	10	支援
人材育成計画作成支援	2	事業所	マーケティング力向上支援	8	事業所
販路開拓支援	40	支援	事業計画作成支援	6	支援
創業支援	5	事業所	事業継続計画(BCP)作成支援	2	事業所
コスト削減計画作成支援	20	事業所	財務分析支援	55	事業所
5S支援	1	事業所	IT化支援	3	事業所
債権保全計画作成支援	1	事業所	事業承継支援	3	事業所
災害時対応支援	0	事業所	結果報告	95	事業所

件数設定の根拠及びその実現に向けた取り組み

前年度支援企業数	100
<p>本年度も最重要課題である、カルテ件数を95件目標にしており、総会員数の約30%を占めている。巡回時に事業所の抱える問題点や課題等を掘り起こす。地域活性化事業からも相談支援事業に繋がる事業所を見い出し、カルテ対象事業所を増加させ、問題点の解決を図り事業所の役に立つよう最大限の努力をしていく。</p>	

事業所支援の実施方法（専門家や各種支援機関、支援制度の活用など）

巡回指導を増やし事業者が抱える問題点や課題に対して、速やかな指導を行う事を心がけ、何よりも素早い対応、ワンストップサービスを実施する。また高度な相談については各種支援機関のコーディネーターや当会の専門相談員に依頼し、素早く問題の解決を図る。

II 専門相談支援事業

事業名	新規/継続	指標	目標数値	事業概要
金融窓口相談	継続	相談件数	13	日本政策金融公庫、融資相談
税務支援	継続	相談件数	10	税務、記帳相談
法務、労務、経営支援	継続	相談件数	15	法律相談、登記法律相談、労務・社会保険相談、経営相談

事業実施のポイント・期待される効果

事業所が抱える問題点や課題、要望に対し速やかな指導を行う。（特に資金繰りの悪化の抑制や融資に繋がる財務分析等）については素早い対応、ワンストップサービスを実施することを、経営指導員全員が心がけているので、事業者の満足度は向上しているものと思われる。又、事業者からの様々な問題提起、要求に応えることが、職員の資質の向上や信頼関係を築き上げるのに役立っている。

4-1. 地域活性化事業一覧

島本町商工会

府施策 連携	事業名	概要	金額(円)
(1) 単独事業			3,024,950
	商業活性化支援事業	100円商店街を計画し、商店街のにぎわいを取戻し集客力のアップや新規顧客の獲得を目指し商業の活性化を図り、現在の閉塞感を打破する。	1,212,000
	しまもと・にぎわい地域活性化事業	「島本町立歴史資料館を含むJR島本駅前の活性化」と「地元産品などを利用した特徴ある地元商工業者の参加型活性化」	1,030,200
	『名水百選：離宮の水』 商業活用事業	名水百選『離宮の水』の商業活用に向けての取組	782,750
(2) 広域事業			4,851,037
	手づくりコミュニティ市事業	空き店舗を活用し、新たな公共の担い手となる地域の社会起業家を発掘、活動支援をする。CB事業者の販路開拓情報発信基地とする。	3,031,032
	承継・創業経営者交流会	摂津市商工会の事業計画書参照	62,800
○	クラウドファンディング 活用セミナー	摂津市商工会の事業計画書参照	28,400
○	三市一町合同就職面接会	摂津市商工会の事業計画書参照	92,345
	商工フェア事業	四條畷市商工会の事業計画書参照	100,000
○	キャッシュレス化の推進事業	茨木商工会議所の事業計画書参照	500,000
○	BCP/BCMの普及促進	高槻商工会議所の事業計画書参照	32,400
○	AI・IoT活用セミナー	高槻商工会議所の事業計画書参照	26,000
○	事業承継の支援事業	吹田商工会議所の事業計画書参照	60,600
○	地域産業資源活用支援事業	吹田商工会議所の事業計画書参照	40,400
	大阪勧業展	大阪商工会議所の事業計画書参照	25,250
	北摂地チカラフェスタ	箕面商工会議所の事業計画書参照	150,000
	事業承継者等の育成事業	大阪府商工会連合会の事業計画書参照	227,250
○	中小・小規模事業者 サービス品質向上支援事業	大阪府商工会連合会の事業計画書参照	70,500
	女性リーダー養成事業	大阪府商工会連合会の事業計画書参照	106,050
○	創業支援事業	大阪府商工会連合会の事業計画書参照	40,400
○	事業継続計画(BCP) 策定支援事業	大阪府商工会連合会の事業計画書参照	106,050
	大阪企業のコスト削減計画	大阪府商工会連合会の事業計画書参照	151,560

うち府施策連携事業

997,095

事業名		商業活性化支援事業	新規/継続	継続
想定する実施期間		2011 年度～	年度まで	<input type="checkbox"/> ←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのよう な状態にしたいか)	地域の商業環境は交通の利便性が良いため、近隣の大都市圏（京都市・大阪市・高槻市）や大型店への購買力の流石、事業主の高齢化による廃業の増加等地域全体の商業の地盤沈下が進み、疲弊の一途を辿り集客力に乏しいのが現状である。そこで全国的に実施され非常に高い確率で成功を収めている「百円商店街」に着目し、島本町でも百円商店街を継続的に実施、商店街に賑わいを取り戻し、集客力のアップや新規顧客の獲得等を目指し、商業の活性化を図り、現在の閉塞感を打破する起爆剤としたい。また新しいマンションが数多く建設され転入者も多く、町の商業施設を知らない人が増加しており、その人たちに店を知ってもらおうキッカケづくりをし、常連客につなげていきたい。		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	水無瀬駅近隣の4商店街及び周辺商店等		
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	『百円商店街』を継続してきたことで、徐々にではあるが新規顧客も増え、効果が表れており、アンケート調査の結果でも毎年85%程度継続希望もある。住民も12月の第一土曜日は『百円商店街』が開催されることを楽しみにしている人が多く、事業者・住民双方のニーズに合った事業である。		
これまでの 取組状況 ※継続事業の 場合のみ記入	実施内容・ 実績数値	12月1日（土）午前10時から午後4時頃まで4商店街50店舗参加により『百円商店街』を開催、昨年も同時開催し好評だった『手づくりコミュニティ市』も同様に開催し、また、集客力があるイベントであるため各種団体もイベントを開催した。その相乗効果により通行量は約50%以上増加し、1万人以上の人々が来場した。新規顧客が数多く来店し例年以上の賑わいを見せ当初の目的は、ほぼ達成された。集客力のあるイベントのためマスコミ（JCOM等）にも取材や放映等をしてもらい、絶好のPRの場になった。また、一日の売り上げが過去最高を記録した店が2店舗あった。		
	反省点	阪急水無瀬駅周辺の店舗は、多くの来場客でにぎわったが、少し離れた場所での集客力はもう一息だったので、水無瀬駅周辺以外の場所の参加勧奨および活性化を強化すべきであった。現在島本町で増加している新興住宅・マンションが駅周辺以外にも増えてきているのでそういった場所へPRし、身近な商店の認知度向上を目指していきたい。		
具体的 な実施 内容・ 手法 (該当型 に○) いつ・ どこで・ 何を・ どのよう にする のかを 明確に)	人材育成型	主に水無瀬駅近隣の商店街単位で実施し、今回も『手づくりコミュニティ市』及び福祉展と12月の第一土曜日に同時開催予定であり、事前にシルバー人材センターに依頼し、町内全戸にポスティング（地図入りの案内チラシ）や横断幕やノボリ等でPR、各店が創意工夫を凝らし、100円でお客様に提供できる目玉商品を店頭販売し、個々の店のPRを行う。商店街全体をひとつの100円ショップに見立て、個店認知度及び集客力アップを図る。今回も4商店街が必ず同一開催できるように働きかける。また、マスコミ関係に依頼し、広く事業PRを行う。 百円商店街開催後、参加店を中心に意欲的な店舗に集ってもらい交流会を開催し、各事業所が店舗の特徴や強みを把握してもらおうと同時に課題や問題点等を発見し、店舗同士で知的・人的ネットワークを広げ、地域活性化に向け、一致団結した取り組みを期待する。（1回 1月～2月頃）		
	<input type="checkbox"/> 人材交流型			
	<input type="checkbox"/> 販路開拓型			
	ハズ 杓型			
	独自提案型			
事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠)	<input type="checkbox"/> (a)府施策連携	<input type="checkbox"/> (b)広域連携	<input checked="" type="checkbox"/> (c)市町村連携	<input type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果
町役場には、町広報誌にて、事業のPRに協力してもらおう。 販路開拓への足掛かりとなるようなビジネスマッチングやセミナーなどの情報提供やインターネット・DM・POP等の販促物の活用を指導し、できるだけ多くの事業者のカルテ化に繋げていきたい。				

事業名		商業活性化支援事業				新規/継続	継続	
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 4	水無瀬駅前の商業集積地にある4商店街（約55店舗）で実施し、集客力のアップや新規顧客の獲得等により売上のアップを図る。募集方法は、商工会から直接や店舗間での呼びかけを実施する。					
	支援対象企業の変化	『100円商店街』を実施することにより、消費者の満足度が得られ、また商店街に連帯感が生まれ、事業主間のコミュニケーションが向上する。集客力アップ、新規顧客の獲得・売上アップに繋がる。						
	その他目標値	指標	イベント開催1カ月後の集客増が見られる事業所割合	数値目標	70%			
算定基準	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	サービス単価	支援企業数	係数	標準事業費			
	⇒	50,500 円 ×	4 ×	10.00 =	2,020,000 円			
		40,400 円 ×	10 ×	1.00 =	404,000 円			
		円 ×	×	=		円		
		(小計)				2,424,000 円		
		※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算（小計の5%）					円	
		計				2,424,000 円		
算出額	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準とおりの場合不要)							
	①市町村等補助	円	交付市町村等					
	②受益者負担	円	負担金の積算					
	(a)府施策連携	(b)広域連携	○	(c)市町村連携	○	(d)相談事業相乗効果		
	標準事業費	補助率	(①市町村等+②受益者負担)					
	2,424,000 円 ×	0.50 =	1,212,000 円	(円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額	役割（配分の考え方）				
			円					
			円					
			円					
			円					

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		しまもと・にぎわい地域活性化事業		新規/継続	継続
想定する実施期間		26 年度～	年度まで	←複数年度段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>事業所や商店街等各団体間の相互連携の促進による課題解決等に向けた検討等、地域活性化取り組みについて、継続的に連携していく横のつながりが構築され、地元商工業者と地域住民で構成する「しまもと・にぎわい・ねっとわーく」推進委員会が発足した。</p> <p>今後の課題は、「しまもと・にぎわい・ねっとわーく」において、町内外に統一感をもった島本町のPR・情報発信をどのように展開、充実をはかり運用していくか、島本町横断的な情報発信の確立である。</p> <p>商工会としては、本事業を継続し、各団体間の相互連携をさらに推進して行く必要性がある。また、今後島本町のにぎわい活性化のために何をすべきか、「しまもと・にぎわい・ねっとわーく」において検討を重ね、相互の課題解決に協力、協議していける場としていく。さらに、地域住民からは、地元情報を身近に聞き取ることができる場である。このことから、国・府・市町村のお役立ち政策情報等の提供ができ、商工会各種相談支援につなげていくことにより経営改善等意識向上をめざした支援になる。現状の地域活性化事業活動を地域住民と地元商工業者が主体となり、地元商店へのさらなるにぎわいにつなげ、島本町の地域活性化事業活動の更なる発展へとつなげていける取り組みとする。</p>			
	支援する対象 (業種・事業所数等)	阪急水無瀬駅に集積する商店（島本センター・みなせ名店街・水無瀬駅前商店街、島本共栄会等）及び地元商工業者			
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	地域情報と地域活性化取り組みについて、双方の課題など種々の意見を聞く機会を得られること、地元商工業者と地域住民の参加型の活性化事業に取り組み方の手法を学びたいと望む声がある。			
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<p>『しまもとにぎわいねっとわーく推進委員会』としてにぎわい・ねっとわーく Facebookを活用し、地域行事や活動の情報収集・発信をすることで町内で行われている事業を他方へ発信している。上記活動により『離宮の水』ブランド化推進協議会の構成委員に選ばれ、離宮の水ブランディング4品目の審査に加わった。</p> <p>また町広報しまもとの『しまもと・にぎわいねっと』に各種事業の掲載を毎月継続することで充実した情報発信が可能となっている。（各商店街手づくり市や団体イベント、音楽イベントなど）</p> <p>町内イベント出展事業所数は、7イベントで延べ20事業所であった。</p>			
	反省点	交流会の開催タイミングがうまく重ならず、新規参加もいるが参加者が固定が目立った。意見交換という点ではブラッシュアップは進むが、新たな情報を入れるという目的もあるため次回以降は改めて調整したい。			
具体的な実施内容・手法 (該当型に○印・どこで何をどのようにするのかを明確に)	人材育成型	【人材交流】 商工業者を中心に、地域住民とともに、島本町のさらなるにぎわいの創出活性化にむけて、「しまもと・にぎわい地域活性化事業」交流会を開催する。（3回開催、1回目6月頃、2回目10月頃、3回目2月頃に実施予定。）			
	○ 人材交流型	【販路開拓】 しまもと・にぎわい・ねっとわーくにおいて情報収集、情報発信する島本町内の各種イベントにおいて商工会ブースへの積極的な出展を促進支援する。支援内容として、消費者ニーズ・PRポイントをつかんでもらい、新商品開発等への取り組み意思の向上及び販売促進等事業所の実情に応じた支援をする。（4月島本音楽フェスティバル、10月水無瀬神宮秋祭り、11月島本町農林業祭など、20事業所出展予定）			
	○ 販路開拓型				
	ハズ 刈型				
	独自提案型				
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	<input type="checkbox"/> (a) 府施策連携 <input type="checkbox"/> (b) 広域連携 <input checked="" type="checkbox"/> (c) 市町村連携 <input type="checkbox"/> (d) 相談事業相乗効果 町行政、商工会、商工業者、地域住民と共に、しまもとにぎわいねっとわーくを活用して、三位一体で活性化事業推進していく。参加事業所の個別課題に関する支援を相談事業へつなげる。				

事業名		しまもと・にぎわい地域活性化事業				新規/継続	継続
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 20	交流会参加商工事業者数 (集積する商店及び地元商工事業者や推進委員会に参加している事業者、商工会報などで案内)				
	支援対象企業の変化	積極的参加により事業所の認知度を高めることができる。新規顧客の取り込みができ、販売促進、販路拡大につながっていく。また、新商品、メニュー等開発とサービスの向上にもつながる。					
	その他目標値	指標	事業参加による意識の向上			数値目標	80%
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	目標値の内容⇒ 20	各種イベント参加の合計事業所数 (集積する商店及び地元商工事業者や推進委員会に参加している事業者、商工会報や直接届けるなどで案内)				
	算出額	サービス単価	支援企業数	係数	標準事業費		
		⇒	40,400 円 ×	20 ×	1.30 =	1,050,400 円	
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	50,500 円 ×	20 ×	1.00 =	1,010,000 円		
		円 ×	円 ×	円 ×	円		
				(小計)		2,060,400 円	
				※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算 (小計の5%)		円	
				計		2,060,400 円	
独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準とおりの場合不要)							
算出額		①市町村等補助	円	交付市町村等			
		②受益者負担	円	負担金の積算			
		(a)府施策連携	(b)広域連携	○	(c)市町村連携	○	(d)相談事業相乗効果
		標準事業費	補助率	(①市町村等+②受益者負担)			
		2,060,400 円 ×	0.50 =	1,030,200 円		(円)	
		代	商工会・会議所名	配分額	役割 (配分の考え方)		
				円			
				円			
				円			
				円			
				円			

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		名水百選『離宮の水』の商業活用事業		新規/継続	継続
想定する実施期間		28年度～	年度まで	←複数段階的実施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>水無瀬神宮『離宮の水』は、大阪府で唯一「全国名水百選」に選ばれた水であり、島本町の貴重な地域資源である。その水を求めて毎日多くの方が町内外から取水に訪れている。長年ご神水として親しまれてきてが、28年度、事業者から離宮の水の商業活用を望む声が出てきたことや、地域住民からも離宮の水を活用して地域活性化を望む声が出たことなどにより、関係各所の協議を経て、離宮の水を使った商品を事業者が開発してもらい、地域ブランドとして推進していくこととなった。この離宮の水をきっかけに名産品の開発を行い、地域活性化と地域商業の発展につなげることを目的とする。</p> <p>地域の土産品として、他地域へ土産にもって行ってもらえるように、また離宮の水ブランド商品を目当てに他地域から島本へ足を運んでもらえるように、との思いから離宮の水ブランドが誕生したものの、まだ知名度が低く消費者にあまり利用されていない現状があるため、広く住民にPRし、地元での知名度・購買力の向上をはかり、さらに広く他地域にPRするためのとりくみにつなげる。</p>			
	支援する対象 (業種・事業所数等)	離宮の水ブランドロゴマークを使って商品開発し、販路拡大に取り組みたい事業者			
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	島本にはこれといった特産品がなく、住民より土産に持っていきやすい商品を開発してほしいという要望があった。また事業者より地域の資源である離宮の水を使った商品を作りたいという要望があった。それらを合致させて離宮の水を使った名産品を作ろうという取り組みがはじまった。この取り組みに賛同した11事業者からスタートし、のちに1社取り下げとなったが、30年度は新たに3事業者が加わった。現在13事業者が認証を受けている。			
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<p>28年度より、離宮の水の商業活用に向けて、町、商工会、弁護士、中小企業診断士、フードコーディネーター、事業者などから成るワーキングチームを結成、この取り組みの核となる事業者や水無瀬神宮、「離宮の水保存会」等と協議しながら、離宮の水のブランド化を進めてきた。28年度の成果として、島本町がブランドのロゴマークを作成、商標登録した。また、ロゴマークの認証機関として「離宮の水ブランド推進協議会」(事務局を商工会に置く)を設立した。</p> <p>29年度よりロゴマークを活用して商品を開発してくれる事業者を募集。フードコーディネーターによる商品開発支援を経て11商品が認証された。その後、パンフレットの作成、マスコミ向けのお披露目会、『離宮の水を島本ブランドへ』と題した勉強会を開催、『離宮の水名産品大交流会』と題した試食交流会を開催した。</p> <p>30年度は新たに4商品を認証。パンフレットの刷新、ケーブルテレビや広報誌などでPR活動を行ったほか、イベント出店しPRを行った。11月に試食交流会を行った。</p>			
	反省点	30年度に行った試食交流会の中で、ブランドとしての知名度がまだ低いので、もっとPRしてほしいとの意見があった。			
具体的な実施内容・手法 (該当型に○いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	人材育成型	「名水百選・離宮の水」を使った離宮の水ブランド商品の開発・普及を推進する。支援対象は、既存の13事業者と今年度新たに認証を目指す2事業者の合計15事業者。			
	○ 人材交流型	【人材交流型】			
	○ 販路開拓型	<p>①離宮の水ブランド認証事業者と、離宮の水ブランド推進協議会と、今後新たに商品開発を考えている事業者などで、一緒に話し合える機会を設け、今後のブランド推進計画について意見交換をする。交流の中から一緒に事業をしようという機運が生まれたり、コラボ商品などが誕生することもある。</p> <p>【ハンズオン型】</p> <p>②離宮の水ブランド認証を目指す事業者を掘り起こし、マーケティングや商品開発などの支援を行い、新たなブランド商品が誕生するよう積極的にバックアップする。またブランド認証されたのちは、販路拡大・販路開拓ツールの作成・マスコミなどへのつなぎ・商品のブラッシュアップなどの支援を組み合わせる総合的に行い、積極的にバックアップする。(2社)</p> <p>≪離宮の水ブランド商品認証スケジュール≫</p> <p>5月頃、申請開始予定 6月頃、商品認証審査会を開催予定。 7月頃、認証商品のプレスリリース予定。</p> <p>【販路開拓型】</p> <p>③島本町内外のイベントに合わせ、町内の主要イベント(下記)においては離宮の水ブランド販売ブースを設置し商品のPR・販売する。また町外のイベントは積極的に事業者機会を案内、出店につながるよう支援し、PR・販路拡大につなげる。</p> <p>第1回 4月21日 島本音楽フェスティバル 第2回 7月初旬 しまもと手づくりコミュニティ市 (当会主催) 第3回 10月下旬 水無瀬神宮秋まつり 第4回 12月初旬 しまもと手づくりコミュニティ市 (当会主催)</p>			
	独自提案型				
事業手法	<input type="checkbox"/> (a) 府施策連携	<input type="checkbox"/> (b) 広域連携	<input type="checkbox"/> (c) 市町村連携	<input type="checkbox"/> (d) 相談事業相乗効果	

4-2. 地域活性化事業 事業調書

事業名		手づくりコミュニティ市事業	新規/継続	継続
想定する実施期間		2011 年度～ 年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	当該地域ではそれぞれ手づくり市を行っており、多くの手づくり作家が活動している。しかし、作家同士の交流や情報の交換などはそれぞれの個人的な範囲に留まり、広く活動の場や情報を求めている方が多い。 この事業により、当該地域での手づくり作家の交流、活動への意欲拡充や創業へのステップアップ、開業による空き店舗の解消に貢献するとともに、手づくり市が地域のコミュニティの場として定着し、多くの人に参加してもらうことにより、商工業の発展にも寄与することを目的とする。 また、地域でCB事業等を実施している方やCB予定者は潜在的に多くワークショップなどを行う場を求める声は多い。そういった方々の活動をPRして、発表・販売の場を提供することでCB起業家の増加、ひいては地域全体の活性化につなげることを目的とする。		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	当該地域または近郊で ★手づくり作家として活動している方 ★CB起業を考えている方 ★販路開拓をしたい商工業者		
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	★「しまもと手づくりコミュニティ市」の認知度の高まりに比例し、出店者や来場者、周辺の事業所からも「手づくり市」の通年実施や開催回数の増加の要望が多く寄せられている。 ★H30年度摂津市と広域連携での実施により、それぞれの地域での手づくり作家同士の交流が促進され、セミナーやイベント等の情報交換や交流の機会を持ちたいとの要望がアンケート結果より明らかになった。		
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年7月、12月に手づくり市を実施、のべ99店舗の参加があり、アンケートによる平均満足度は82%であった。 H30年度摂津市との広域連携での実施により、手づくり作家同士の交流が促進され、当事業以外のイベントでも相互に出店がなされるなど、販路の拡大に役だっている。 H29年度より島本町福祉推進課よりイベントを同日で開催したいとの申し出があり、障害者週間ふれあいバザールinみなせと共にイベントを行った。今まで同日に島本町ふれあいセンターにて行われていたこのイベントが加わることにより、これまで手づくりコミュニティ市には足を運んでいなかった層の取り込みができた。 各種メディア（鉄道会社HP、フェイスブック、チラシ、町広報、J:COM等）を利用して積極的にPR活動をし、また事業を継続することで町内外での認知度が高まり、集客が増えている。 この事業がきっかけとなり発足、また定着しつつある町内商店街による毎月1回の手づくり市（第3土曜日、水無瀬マーケットプレイス）に加え、阪急水無瀬駅高架下の商店街空き店舗を利用し、毎月第3火曜日に手づくり市「しまもとマルシェ」が催され、空き店舗の活用と商店街の活性化に寄与している。また、水無瀬神宮にて「オーガニックマーケット」が始まり、H29年度12月よりは水無瀬神宮神徳館にて手づくり市「わきあいあい」が開始。 H30年度には、「しまもとママフェス」や町内商店街や企業と協力しての「クリスマスマーケット」が実施されるなど、これまでの取組により醸成されたものが確実に発展・展開をとげている。 		
	反省点	手づくり市に限らずではあるが、午後からの人出が減るため集客のための仕掛けづくりが必要。 創業希望者、創業に関心のある方を中心に、出店に関する優遇措置を行うなど、支援を厚くし、より地域での創業を促進していく必要がある。		
具体的な実施内容・手法 (該当型に○をつけてどこで何をどのようにするのかを明確に)	人材育成型	(人材交流型) 連携市町にて、資質向上及び情報交換、交流をはかるため下記の通り実施する。		
	○ 人材交流型	①「インスタグラム販促活用セミナー（仮）」 ★日程：平成30年6月中旬予定 ★場所：茨木商工会議所 茨木市岩倉町2-150 立命館いばらきフューチャープラザ ★内容：プロフィールの作り方、インスタ映えの撮影方法、インスタ活用事例等		
	○ 販路開拓型	②「心に届くチラシ・文章作成セミナー（仮）」 ★日程：平成30年6月中旬予定 ★場所：島本町商工会館 ★内容：チラシ作成のための文章作成のコツを学ぶ。その後、参加者により交流会を実施。セミナーでの受講内容等について意見交換・交流会を行う。		
	独自提案型	(販路開拓型) 連携市町で行う下記イベントに相互に出店を行う 「しまもと手づくりコミュニティ市」(出店各50件) ★日程：平成30年7月・12月頃(2回実施予定) ★場所：第1回目：史跡桜井跡史跡公園 第2回目：阪急水無瀬駅周辺の空き店舗等 ★内容： ・年2回の手づくり市の開催 ・地域コミュニティの創造、CB起業家や新規創業者を増やすきっかけをつくる。 ・7月開催分は、町の歴史観光拠点でもある、史跡公園にて七夕イベントと連携して行う。島本の名産でもある竹などを活用し、ただの買い物でなく「楽しい時を過ごす」ための手づくり市を目指す。 ・12月開催分は百円商店街と同日開催し、町内商業の活性化につなげる。 「いばらきてづくり市in茨木神社」(出店20件) ★日程：平成30年9月22日(日) 予定 ★場所：茨木神社 ★内容：創業希望者や、創作意欲に富む作家が出演		
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	<input type="checkbox"/> (a) 府施策連携 <input type="checkbox"/> (b) 広域連携 <input type="checkbox"/> (c) 市町村連携 <input type="checkbox"/> (d) 相談事業相乗効果 (b) それぞれの地域で活動する手づくり作家を各市町で行うイベントに相互出店させ、交流会を行うことで交流の促進と販路の拡大を図る。 (c) 島本町に後援依頼。町の広報誌や掲示板などを使った広報。町の担当課と会議を持ち情報交換・共有、島本町公式キャラの活用を行う。島本町福祉推進課と打ち合わせを行いイベントを12月に同時開催。集客の相乗効果を狙う。 (d) 支援した方の中から可能な限りカルテ化や専門家相談等につなげる。			

4-2. 地域活性化事業 事業調書

事業名		手づくりコミュニティ市事業				新規/継続	継続
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 50	昨年実績（しまもと手づくりコミュニティ市出店数の99件、 実数83件 ）の50%。 町広報・HP・Facebook・セミナーや手づくり市出店者へのDM等を通じて告知、募集。				
	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 20	いばらき手づくり市募集数のおよそ2/3。 茨木商工会議所HP等を通じて告知、募集。				
	支援対象企業の変化	手づくり市への出店による売上。新規顧客の獲得や販路の開拓、また未創業者の創業への意識付け・意欲の向上が期待できる。					
	指標	創業へ意欲を示した出店者数		数値目標	22		
事業の目標	その他目標値	目標値の内容⇒ 1500	来客数はH30年度しまもと手づくりコミュニティ市アンケート回答より、売上総額（約150万円）を商品単価（1000円とする）で除し、算出。				
	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 25	連携地域を広げたため、目標値を前年度実績(15)よりおよそ60%増とした。 手づくり市出店者へのDM送付、創業者及び創業予定者、管内事業所へ勧誘。またHP・Facebook等を通じて募集。				
	支援対象企業の変化	インスタグラム活用・チラシ作成セミナーによって、デジタル・アナログ両面での情報発信力の強化が期待できる。また受講後に交流会をあわせて行うことで、セミナーでの学びを深め、出店者や事業者による活発な情報交換、意見交換が期待できる。					
	指標	情報発信力が強化された事業者		数値目標	70%		
算定基準により算出される額	その他目標値	目標値の内容⇒					
	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	サービス単価	支援企業数	係数	標準事業費	
		人交	40,400 円 ×	25 ×	1.20 =	1,212,000 円	
		販路	50,500 円 ×	50 ×	1.20 =	3,030,000 円	
		50,500 円 ×	20 ×	1.00 =	1,010,000 円		
		50,500 円 ×	1,500 ×	0.01 =	757,500 円		
				(小計)	6,009,500 円		
				※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算（小計の5%）	300,475 円		
				計	6,309,975 円		
	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)						
算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等			
	②受益者負担		円	負担金の積算			
	(a)府施策連携	○	(b)広域連携	○	(c)市町村連携	○	
	(d)相談事業相乗効果						
	標準事業費	補助率	(①市町村等+②受益者負担)				
	6,309,975 円 ×	0.75 =	4,732,481 円	(円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額	役割（配分の考え方）			
	○	島本町商工会	3,031,032 円	島本町商工会は、幹事として企画調整等を行う。			
		摂津市商工会	233,075 円	他商工会・商工会議所は相互にイベントへの出店斡旋・広報・当日準備等を協力する。			
		茨木商工会議所	1,468,374 円	事後フォロー及び、カルテ化については相談の上で分担する。			

※別添で補足する内容があれば添付してください。

6. 経費支出計画書（経費内訳）

島本町商工会

I 経営相談支援事業				
区 分	算 定 基 準			補助金額
	事業所数/回数	単 価 (円)	計	
事業所カルテ・サービス提案	95	25,000	2,375,000	
支援機関等へのつなぎ	20	10,000	200,000	
金融支援（紹介型）	4	30,000	120,000	
金融支援（経営指導型）	10	40,000	400,000	
マル経融資等の返済条件緩和支援	1	20,000	20,000	
資金繰り計画作成支援	5	20,000	100,000	
記帳支援	12	25,000	300,000	
労務支援	10	20,000	200,000	
人材育成計画作成支援	2	20,000	40,000	
マーケティング力向上支援	8	20,000	160,000	
販路開拓支援	40	20,000	800,000	
事業計画作成支援	6	50,000	300,000	
創業支援	5	20,000	100,000	
事業継続計画(BCP)作成支援	2	20,000	40,000	
コスト削減計画作成支援	20	20,000	400,000	
財務分析支援	55	10,000	550,000	
5S支援	1	10,000	10,000	
IT化支援	3	20,000	60,000	
債権保全計画作成支援	1	10,000	10,000	
事業承継支援	3	20,000	60,000	
災害時対応支援	0	5,000	0	
結果報告	95	10,000	950,000	
小 計	—		7,195,000	7,195,000
II 専門相談支援事業				
事 業 名	算 定 基 準		補助金額	
	支援回数	計		
金融窓口相談支援	10	240,000		
税務相談支援	7	182,000		
法務相談支援	6	144,000		
労務相談支援	3	72,000		
経営相談支援	3	72,000		
小 計	29	710,000	710,000	
※記帳支援のために税理士を活用する場合、26,000円×事業所数				
III 地域活性化事業				
小 計	算 定 基 準		補助金額	
	別紙事業調書のとおり		7,875,987	
IV 商工会等支援事業				
小 計	算 定 基 準		補助金額	
	別紙事業調書のとおり		969,300	
V 合計				
合 計	算 定 基 準		補助金額	
			16,750,287	